柱杭スポッと工法

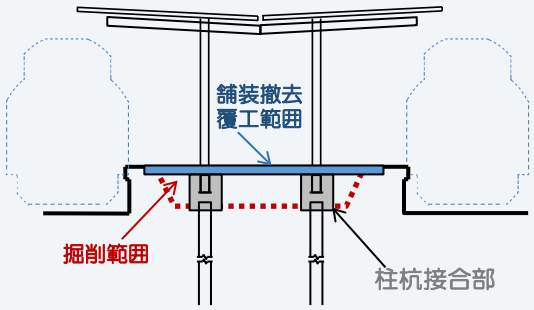
東鉄工業（株）・千代田工営（株）共同開発品

上家柱と鋼管杭をダイレクトに接合する工法

開発経緯

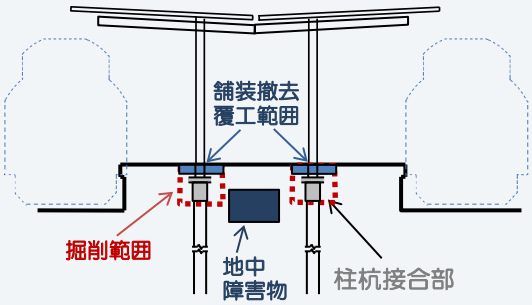
駅ホーム上家の建設工事において、従来の基礎工法では柱杭接合部が大きく、建設コスト増の要因となっている。
また、柱杭接合部のサイズが大きいため、ホーム舗装の支障撤去範囲が広く、地中障害のリスクも高い。
そこで、従来工法に代わるコンパクトな上家基礎工法『柱杭スポッと工法』を開発した。

直接基礎の場合



（従来）施工イメージ

開発概要

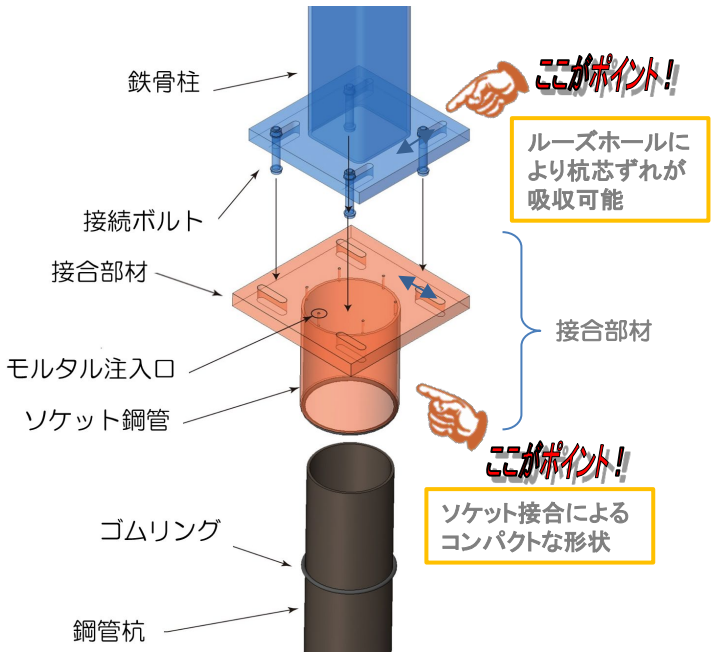


（開発品）施工イメージ

特長

（1）鋼管杭にダイレクトに上家柱を接合可能
（2）ソケット接合によるコンパクトな形状
（3）鋼管杭の芯ずれと倒れを調整可能
（4）任意の杭サイズ・柱サイズに対応

掘削範囲の縮小・施工手間の削減により
・工期短縮、コストダウンの実現
・仮囲い設置範囲の縮小



採用実績

- JR東日本：鶴見駅、田町駅など
- 東鉄工業：総合研修センター

知的財産権

- 特許第7448914号
- 特許第7770649号

お問い合わせ

お問い合わせ	JR東日本 T&I推進本部 構造技術センター 03-6878-0017（代表） 東鉄工業株式会社 建築技術・DX推進部 03-5369-7624
製造・販売	千代田工営株式会社 048-642-4191

資料提供：東日本旅客鉄道株式会社